



H.Suga

THE TOKYO SPORTS HAI NISAI STAKES

第29回 東京スポーツ杯2歳ステークス (GII)

1着 賞 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円
付加賞 315,000円 90,000円 45,000円



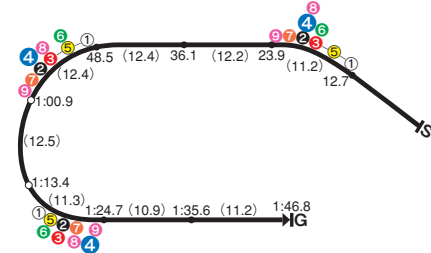
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.11.16 東京 曇・良 芝1800m (国際) (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	クロワデュノール	牡	2	56	北村友一	1:46.8	3-3-2	33.3	504(+24)	2.2①	斉藤崇史(栗東)	112
2	⑨	サトノシャイニング	牡	2	56	松山弘平	3/4	1-1-1	33.5	492(+2)	5.7③	杉山晴紀(栗東)	110
3	⑦	レッドキングリー	牡	2	56	C.ルメール	1 1/2	2-2-3	33.5	504(+4)	2.7②	木村哲也(美浦)	107
4	③	ファイアングランツ	牡	2	56	菅原明良	クビ	6-5-5	33.4	454(+14)	8.0④	堀 宣行(美浦)	107
5	⑤	デルアヴァー	牡	2	56	三浦皇成	1/2	8-7-7	33.3	478(+14)	16.5⑤	松永幹夫(栗東)	
6	②	ジーティーマン	牡	2	56	西村淳也	2 1/2	3-3-5	33.9	486(+12)	19.7⑥	小栗 実(栗東)	
7	⑧	プレシャスデイ	牡	2	56	横山武史	アタマ	6-7-7	33.7	490(+4)	35.9⑦	伊坂重信(美浦)	
8	①	ニシノタンギー	牡	2	56	武藤 雅	1 1/2	9-9-9	33.8	460(-2)	236.8⑧	水野貴広(美浦)	
9	⑥	ニシノイストワール	牡	2	56	田辺裕信	2 1/2	3-5-3	34.7	456(+4)	61.6⑨	鹿戸雄一(美浦)	

単勝④220円(1 1/2倍) 複勝④110円(2 1/2倍) ⑥130円(3 1/2倍) ⑦110円(1 1/2倍) 枠連④-⑥550円(2 1/2倍)
馬連④-⑨660円(3 1/2倍) ワイド④-⑨250円(3 1/2倍) ④-⑦170円(1 1/2倍) ⑦-⑨220円(2 1/2倍)
馬単④-⑨990円(4 1/2倍) 3連複④-⑦-⑨480円(1 1/2倍) 3連単④-⑨-⑦2,300円(4 1/2倍)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
36.1 - 48.5 - 1:00.9 45.9 - 33.4

アラカルト

- ・北村友一騎手は東京スポーツ杯2歳S初勝利。JRA重賞は24年4勝目、通算31勝目
- ・斉藤崇史調教師は東京スポーツ杯2歳S初勝利。JRA重賞は24年3勝目、通算21勝目
- ・キタサンブラック産駒はJRA重賞通算15勝目
- ・本競走全29回で牡馬が勝利

クロワデュノール *Croix du Nord*

牡 青鹿毛 2022.3.21生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・斉藤崇史厩舎
馬名意味・北十字星(フランス語)

ライジングクロスGB系 F20-c

キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シュガーハート 鹿毛 2005	サクラバクシンオー オトメゴコロ
ライジングクロスGB Rising Cross 黒鹿毛 2003	Cape Cross 黒鹿毛 1994	Green Desert Park Appeal
	Woodrising 鹿毛 1992	Nomination Bodham

5代までのインブリード: Lyphard S5×S5 Busted S5×M5

INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

まだまだ完成に向かっていく馬だと思えます

乗り出した頃からコンタクトが取れたというのか、人の指示に従って行動できた馬でした。馬体の変化にも表れていたように成長の波が激しかったので、本格化は先だと思っていましたが、順調に調教をこなしていたこともあって早期デビューとなりました。新馬戦、重賞と想像以上のパフォーマンスを見せてくれましたが、まだまだ完成に向かっていく馬だと思えます。

K.Ishiyama



膨らんだ。
良血馬 評判馬が顔を揃えた6月のデビュー戦(東京・芝1800m)を完勝し、「大物出現」と脚光を浴びた本馬。2番手追走から抜け出したその新馬戦は、後半1000mのレースラップが57秒3という破格の内容だった。5カ月の休養を挟んで臨んだこの日も、ハイレベルな瞬発力勝負にしっかりと対応。大幅な馬体増(プラス24kg)が示す通り、完調手前といった状態で「登竜門」を突破し、前途への期待がさらに大きく

膨らんだ。
良血馬 評判馬が顔を揃えた6月のデビュー戦(東京・芝1800m)を完勝し、「大物出現」と脚光を浴びた本馬。2番手追走から抜け出したその新馬戦は、後半1000mのレースラップが57秒3という破格の内容だった。5カ月の休養を挟んで臨んだこの日も、ハイレベルな瞬発力勝負にしっかりと対応。大幅な馬体増(プラス24kg)が示す通り、完調手前といった状態で「登竜門」を突破し、前途への期待がさらに大きく

父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC^{G1}、菊花賞^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(春)^{G1}2回、天皇賞(秋)^{G1}、大阪杯^{G1}、京都大賞典^{G2}、スプリングS^{G2})、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用
〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}2回、宝塚記念^{G1}、ドバイシーマクラシック・首^{G1}、東京スポーツ杯2歳S^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、皐月賞^{G1}2着)、ソールオリエンズ(皐月賞^{G1}、京成杯^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、宝塚記念^{G1}2着、菊花賞^{G1}3着)、ウィルソンデソーロ(JBCクラシック^{Jb1}、白山大賞典^{Jb3}、マーキュリーC^{Jb3}、かきつばた記念^{Jb3})、ガイアフォース(セントライト記念^{G2}、フェブラリーS^{G1}2着)、スキルヴィング(青葉賞^{G2})、クリスマスレコード(紫苑S^{G2})、クロワデュノール(本馬)、ラヴェル(アルテミスS^{G2}、エリザベス女王杯^{G1}2着)、サトノカルナバル(函館2歳S^{G2})、エコロデュエル(京都ジャンプS^{J-G2})

母ライジングクロスGB

英、愛、北米、伊、独、仏32戦5勝(パークヒルS・英^{G2}、ルーベS・英^L、英オークス^{G1}2着、プレステージS・英^{G3}2着、愛オークス^{G1}3着、ピウィッチS・米^{G3}3着、スプリングC・英^L3着)、08年輸入
クライナーヘルツ(10 牡父ネオユニヴァース)中央11戦0勝、地方14戦3勝
ライザン(11 牡父ネオユニヴァース)中央21戦1勝、豪1戦0勝
アースライズ(12 牡父マンハッタンカフェ)中央16戦3勝(カントダウンS、賢島特別、フラワーC^{G2}2着、マーメイドS^{G2}3着、愛知杯^{G2}3着、オークス^{G1}4着)、ラスカンプレス ⑧(南武特別)の母
ミッキークロス(14 牝父ハーツクライ)中央15戦2勝(汐留特別)、地方11戦0勝
サトノレックス(15 牡父ダイワメジャー)中央2戦0勝
カリナン(16 牝父ヴィクトワールピサ)中央7戦0勝
(17 牡父スクリーンヒーロー)
フーラリ(18 牡父スクリーンヒーロー)中央5戦0勝、地方34戦2勝
ライジングホープ(20 牝父リアルスティール)中央8戦0勝、地方19戦2勝
フェアアイル(21 牝父ミッキーアイル)中央7戦0勝
クロワデュノール 本馬 (22 牡父キタサンブラック)中央2戦2勝(東京スポーツ杯2歳S^{G2}) 獲得総賞金45,515,000円
(23 牡父キタサンブラック)
(24 牝父サトノダイヤモンド)
※13(不妊胎)、19(流産)

1番人気の支持に応え、登竜門突破

「出世レース」と呼ばれる数々の重賞のなかでも、東京スポーツ杯2歳Sは別格の存在といえ、歴代28頭の優勝馬のうち14頭がその後、JRAの平地GIを制している。キャリア1戦の馬たちが中心勢力を形成、キタサンブラック産駒のクロワデュノールとサートウルナリア産駒のレッドキンググリーが2倍台のオッズで人気を二分し、キズナ産駒のサトノシャイニングが2頭に次ぐ支持を集めた2024年は、結果的にもその3頭が上位を独占。クロワデュノールが1番人気の支持に応えて出世のパスポートを掴み取った。一枚上のダッシュで飛び出したのはレッドキンググリーとサトノシャイニング